定例教育委員会会議録

令和7年3月25日

境港市定例教育委員会（令和7年3月25日委員会会議録）

招集年月日 令和7年3月25日 10時30分

招集場所 みなとテラス ミーティングルーム

開 会 10時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

教育総務課長 角 純 也

生涯学習課長 北 野 瑞 拓

教育総務課主査 柳 楽 力 人

教育総務課長補佐兼指導係長 築 谷 健 作

教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

提出議案 議案第3号 境港市渡公民館長の任命について

議案第4号 境港市外江公民館長の任命について

議案第5号 境港市境公民館長の任命について

議案第6号 境港市上道公民館長の任命について

議案第7号 境港市余子公民館長の任命について

議案第8号 境港市中浜公民館長の任命について

議案第9号 境港市誠道公民館長の任命について

議案第10号 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第11号 境港市スポーツ推進委員の委嘱について

議案第12号 境港市立学校の学校医の委嘱について

議案第13号 境港市第三中学校区学校運営協議会委員の任命について

議案第14号 境港市第一・二中中学校区学校運営協議会委員の任命

について

議案第15号 境港市文化財保護条例施行規則の一部改正について

議案第16号 令和7年度境港市学校教職員の研修について

協議事項 令和7年度境港市学校教育の指針について

3月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

予算関係事項 令和7年度当初予算について

報告事項 3月の行事報告、4月の行事予定

境港市民図書館の利用状況について

【1. 開会】

山本教育長

皆様お揃いのようなのでただいまから3月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

山本教育長

議案3号から議案9号まで、境港市公民館長の任命について一括で説明をお願いします。

北野課長

公民館長の任命に関する議案ですので、一括で説明させていただきます。令和7年度におきましては、7公民館すべてにおきまして、今年度に引き続き、同じ方を館長に任命したいと考えております。説明は以上です。

山本教育長

ご質問等ありましたらお願いします。
では、議案第3号から9号までのご承認いただきました。
続きまして、議案第10号境港市公民館運営審議会委員の委嘱について説明をお願いします。

北野課長

議案第10号は、境港市公民館運営審議会委員の委嘱についてです。お手元にお配りしたものが、校長先生の異動によりこちらの方が新しくなっております、そちらをご覧ください。現在任期途中ではございますが、新たに委員を委嘱するものになります。一覧表の備考欄に新任と記載がある方、12名を4月1日付で委嘱したいと考えております。説明は以上です。

山本教育長

ご質問等ありましたらお願いします。
では、議案第10号はご承認いただきました。
続きまして議案案第11号境港市スポーツ推進委員の委嘱について説明をお願いします。

北野課長

議案第11号は、境港市スポーツ推進委員の委嘱についてです。こちら任期途中ではございますが、15ページに一覧つけております。3名の方から、辞任がございまして、新たに委員を委嘱するものになります。表の枠外に新任の記載がある2名を4月1日付で委嘱したいと考えております。なお、渡地区の1名

につきましては、後任の方がまだ決まっておられませんので、現在も委員の方を探しているところでございます。決まり次第、議案として上程させていただきたいと思っておりますので、ご理解ください。説明は以上です。

山本教育長

何かご質問ありましたらお願いします。
委員は決まりそうですか？

北野課長

地区の方でも、なるべく5月中旬には決めたいってことで伺っております。

山本教育長

議案第11号について、ご承認いただけますでしょうか。
では、議案第11号は承認いただきました。
議案第12号、境港市市立学校の学校医の委嘱について説明をお願いします。

角課長

議案第12号は境港市立学校の学校医の委嘱についてです。19ページの任期ですが、但し以降の文は削除をお願いします。
一番右側の枠が新となっている方が、新たに学校医として任命したものになります。外江小学校につきましては、以前、学校医を務めてくださっていましたが、済生会境港総合病院の漆原先生に再度お願いすることになりました。他は、毎年学校医をお願いしております土江先生と細田先生の担当校を変更しております。変更がありました先生につきましては、前任者の2年間の任期のうち、残り1年間の任期で委嘱するものです。説明は以上です。

山本教育長

土江先生には新と記載がありますが、細田先生には新の記載はないのですか。

角課長

細田先生と土江先生は2人で中浜小をしております。今回、外江小を済生会の先生でやってもらえることになりましたので、土江先生は中浜から外れています。

山本教育長

何かご質問ありましたらお願いします。

事務局 19ページについてですが、土江先生と細田先生の退任を解嘱に訂正をお願いします。

山本教育長 議案第12号について、ご承認いただけますでしょうか。

では、議案第12号は承認いただきました。

議案第13号から14号は、境港市第三中学校区学校運営協議会委員の任命と境港市第一中学校区・第二中学校区学校運営協議会委員の任命について説明をお願いします。

築谷補佐

第三中学校区になりますが、こちら令和4年度に、2期目がスタートにして、2期目の途中になりますが、新たに5番伊藤さんと6番松本さんが児童生徒の保護者としての任命であります。新た任命することになる委員の期間は前任者の残任期間となりますので、令和7年4月1日から8年3月31日までとなります。3番と20番につきましては教職員の異動に伴うものであります。19番につきましては、当地域学校コーディネーターですが、今募集をかけるところです。

第一中学校区は令和3年度から始まり、2期目が終了しまして新たに3期目の任命になります。4番の若林さんが、児童生徒の保護者として、18番松下さんは学識経験者として、20番の片平さんが、地域学校コーディネーターとしての任用となります。2番と19番につきましては、教職員の異動に伴うもので、13番、16番、17番につきましては、決まり次第の確定することとなります。任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日となります。

第二中学校区は1期目が終了しまして、新たに2期目の任命になります。5番の木村さん、6番安田さん及び8番坂口さんが、児童生徒の保護者としての任命になります。2番、3番、17番につきましては、教職員の異動に伴うものであります。13番については決まり次第確定することになります。任期は、令和7年4月1日から令和9年3月31日までの2年間。説明は以上になります。

山本教育長 何かご質問ありましたらお願いします。

中田委員 どこの地域も委員の選定っていうところは苦慮されるのでしょうか。

柳楽主査 各地域で相談しながらっていうところで、推薦していただく形

をとっています。

中田委員

CSに対してってことやってる人はやってるし、わからない人はわからないというと、こういうところにあらわれてきてるのかもしれない。

山本教育長

タイミング的に時間がなかったということでしょうか。丁度校長の変わり目等もあると思いますが。

築谷補佐

早いところでも動き出しは、今年度末には、最後の4回目とか5回目の学運協の時には、ある程度来年度の委員の皆様の推薦とか協議をして、そこである程度名前が見えてきたんですけれども、どうしてもやっぱり、地域の住民ということになると難しく、一中校区としては、公民館の主事さんからの人間関係も今当たってるというところなんですけれども、なかなかノミネートしていただけないっていう状況であります。

こういった状況になって、20名以内っていうのが1つうたってはあるんですけど、20名ぐらいっていう表現が出るころなってますので、これをどこまでこう、1つ妥当性として、人数が減ってきたときに成り立たせるのかっていうところも、今後ちょっと議論していかないといけないなと思います。内輪だけの会議になるっていうのは一番よくないなあとと思います。広く意見を聞くっていうことでは地域住民の方こそ、一番、意見としては、大事にしていきたいなという立場だと思います。そのあたりも、ちょっと人数が、なかなか生まれませんが、話題にしながら、ネットワークをちょっと広げていくように、来年度は展開していきたいと思います。

大部委員

メンバーっていうところで、公運審もそうだと思います。お名前をよく見かける方が、すごく長い間、20年、30年とか、この肩書きが終わったら次はこちらの方で肩書きみたいな感じこそ偏ってくる。その内輪だけの話ではなくって、同じ人が肩書きを変えて、関わっているなっていうのはすごく自分が生涯学習課にいたときから思っていました。例えば表彰とかみたいですか20年表彰とか、このようなことが良しとされてたことが、それがどうなのっていうところの議論にも発展していくのかなと思ったりします。基本的に私は長くすればいいと思っている訳ではない人間なので、

やっぱり任期を決めて、何かその次を作っていくとか、人数も本当に公審議15人必要ですかとか、今見たら20人必要ですかとか、何か、1人の方の肩書がやっぱり3つ以上増えるっていうのは、よろしくない、どの肩書きでどの口で物を言ってるんだっていうふうになっちゃうのは、どうなのかなと思います。本当に大変なんだと思います人をお願いすることとか、探されてるのは本当に大変だと思うんですけども、何かその辺がうまくならないかなと思います。

山本教育長

裏を返せばこういう穴があるときに、新しい人を開拓してくるとか、今まで、あまり学校の子供たちに、或いは地域のことに携わってなかった方々に、一緒にやってみようやというようなことですね。特にこれからの新しい学校の運営に関わることで、学運協が、改善していく余地はたくさんあるといいます。人数だけじゃなく、意思決定も、やっぱり2月には、次年度はこう動くという決定をしないと、反省で終わってます。そうすれば、どの校長が突然やってきても、もう決まっていますからと言えますし、地域と繋がり、学校はこうやってやるのでということ、もう少し前倒しで動かないと、4月になってから、この意思決定をしているので、それを改善していくようなことにつなげていく。少しずつだけ改善が見られるっていうところにあると。いいなと思います。

山本教育長

何かご質問ありましたらお願いします。

大部委員

あと前回も言ったと思いますが、継続ですということを示した方が逆にいいと思います。例えば公運審のように印の付いている方が新規の方が分かりやすいと思います。

築谷補佐

次回より修正します。

山本教育長

議案第13号と14号について、ご承認いただけますでしょうか。では、議案第13号と14号は承認いただきました。議案第15号、境港市文化財保護条例、施行規則の一部改正について、説明をお願いします。

北野課長

議案第15号は、境港市文化財保護条例施行規則の一部を改正す

る規則の制定についてです。今回の改正ですけれども、28ページに情報を載せております。当文化財保護審議会の委員の方に支給する旅費の額を定めていた、第19条を、この度の議会で、境港市職員等の旅費に関する条例が改正されたことに伴いまして、削除するものになります。説明は以上です。

山本教育長 何かご質問ありましたらお願いします。

中田委員 旅費ということですが今までに出張などがあったのでしょうか。

北野課長 市にはいろんな条例がございます。市の中の条例と規則に旅費の記載があったりなかったりしています。今回、職員の旅費の条例が変わりまして、その別表とかがなかったりした関係で、旅費の記載を取ろうかという話をしておりました。他の条例の中でも記載を消して、職員の旅費の条例に準拠するという形になりました。出張があれば旅費は支給できますし規定を載せないということで、統一したということでございます。

山本教育長 議案第15号について、ご承認いただけますでしょうか。
では、議案第15号は承認いただきました。
議案第16号令和7年度境港市学校教職員の研修について、説明をお願いします。

柳楽主査 議案第16号令和7年度境港市学校教職員の研修についてということでございます、30ページをご覧ください。次年度、言語活動を軸とした学力向上の推進ということで、国語、英語教育の充実を進めていきたいと思っております。まず、大きな目玉として、全体に関わる、これは境港市だけではなく、西部の他の先生方にもと考えているところですが、言葉の力を育む研修会というのを2回予定しております。7月29日、言葉の力を育む研修会ということで、こちらは、NHKの現在、財団の専門員をなされている畠山慧様を、お招きして、人に言葉で伝えるところにスポットを当てて、研修を行いたいと思っております。合わせて、10月、今度は教職員に対しての指導力向上、また、授業力の向上というところで、英語と書いておりますが、もしここでいつも来ていただいている甲斐先生等もあれば、英語と国語というところで、動きたいなっているふうに思い

ます。今度はその授業の実際の授業とか、そういったところにスポットが出た研修を考えているところです。これが全体で大きな、目玉になるかなと思っております。

続いて、研修についてです。次年度、3年未満の教職員の数がさらに増えていきます。今年度、非常に好評であった研修は授業参加をして、面談をするというような研修、これを1学期から2学期の間、そして3学期はさらに希望者に研修を引き続き行いたいと思います。あわせて、集合研修で行う子どもの理解ですとか、指導力学級経営ですとか指導力向上研修につきましてはそういった、3年未満だけではなく、そこに関わるミドルリーダーの皆さん、ベテランと希望者も含めての研修会という形にして、先生方がそれぞれの立場で横でも、縦でもつながれるような仕組みを作っていきたいというふうに考えております。

続いて3点目です。特別支援教育担当者会を、4月の末か5月初めに予定していました。以前はここに、市教委の研修をずっと組んでいましたが、小中学校の特別支援教育担当者の主任さんが集まる会が発足しまして、そこに市教委からも参加し、学期に1回情報共有したりですとか、市教委からも助言をしたりする会が生まれました。そこに、研修の方を入れ替えております。

続いて、本市が今力を入れていますこの子供カルテにつきましては、まず、1回目に子供カルテの活用についてということと、年度末に子供カルテの引き継ぎについて、今、運用マニュアル等も作成しておりますので、より充実したものになりたいと考えております。

あと、管理職研修につきましては、8月に原子力防災、これは県の原子力防災担当の、力をお借りして、研修会を考えているところです。以上、来年度の研修スケジュールです。

山本教育長 何かご質問ありましたらお願いします。

渡邊委員 こどもカルテのこどもはひらがなでしょうか。

柳楽主査 すみません、ひらがなでした訂正します。

山本教育長 若手職員の新規採用者が11人、初任者研修明けの職員が2人、経験の浅い方が多くなってきたということと、それは境の子ども達にとってみると、とても嬉しいことです。年が近くて、先生

どこから来たのとか、県外からいらっしゃる者もたくさんありますので、そこへ向けての研修と、当然4名の校長先生が新しくなるということで、そこに向けては、ここには書いてませんが、管理職のところには、これから採用いたしますが、会計年度指導主事というのを退職校長から1人置きます。そうなりますと教育委員会内に指導主事が4名いるということになります。築谷くんが主査、若林さんが係長、それから松本笑さんが指導主事。そうすると小席が2、中席が2ということで、初任の校長先生の相談だったり、サポートを考えています。こうしようと思うけど、どういう具合に持っていったらいいのかとか、地域との関係性だとか、職員を束ねるとかいうようなことを相談できる体制をつけていただきました。その方に初任研の一部ですとか、伊平屋村との交流とか、シンガポールとか、その方を中心に行っていただいて代休をとっていただくってというような方法をとると、いよいよ校長が行けない場合でも、元校長ですので、そういう形でサポートをお願いできる体制を整えています。私から補足としては以上です。

山本教育長

続きまして協議事項ということで、令和7年度境港市学校教育の指針についてということで、説明をお願いします。

事務局

説明

渡邊委員

この指針は昨年度から繋がっており、ブラッシュアップされていると思いました。すべての子供たちの命と身体、人権を守る学校づくりってところがすごくよく、特に最後の自分の人権を守り他者の人権を守るための、実践の行動力の育成というところは本当に子供たちが今ちょっと心も体も弱くなってるので、そこでやっぱり自分を守るって、人権だけではなくて、何か自分の特性とかよさとか、もちろん人権もそうなんだけれども、むしろ人権という言葉は前にあるので、自分も守る、他者も守る、そのための実践行動力の育成っていうふうにするほうが良いと思います。今、自死の問題とか、それから性の問題とか、全部ひっくるめて、文部科学省も今、命の安全教育って言ってますからね。すごく力入れてますのでそういったところも含まれると思います。（もちろんこれにも含まれると思うんですけど。）その言葉として、自分を守るというのは、人権だけではなくて、自分丸ごと全部受け

とめてもらい、自分の良さを出していくっていうところを伝えられるといいかなと思います。

山本教育長

いやいや、大切なことです。もう、ここに自分の気持ちがおよんでなかったのを今、反省をしましたが、今までこういうものだったからこうなってるっていう状態で、ただ本当に今の混沌としたような中では、何か、とても大切なことをなですよ、改めて人権がない中では、もう何も成り立たない時代になってるので、そこをもう少し、これはまだ案の段階でそうですね。改良を含めて、考えたいというふうに思います。ありがとうございました。その件に関して何かありますか。なければ他のことでも、ありましたらお願いします。

十河委員

去年から比べてまたさらに進化してる指針についてすごく感動してる状況です。特にやっぱり今、渡邊委員も言われましたことや、行きたい学校になっていこうとしているこの指針ができてること自体、これを実践していただきたいと本当に心からそう願いますし素晴らしい言葉がいっぱい散りばめられてるなと思って、すばらしいなと、改めて、良い指針ができたなというふうに思いました。

山本教育長

ご意見、ありがとうございます。ほかにはありますか。私が、言うのも変な感じがしますが気になってるのは、この指針により、改善をしながら今のニーズに合ったものに取り組んでいく中で、質の高いとはどういう具合にみんなとらえてるのか、綺麗な言葉として使っていますが、質の高いついていうのは何を指して、今までの質が低かったということなのか、何かこう、艶がピカピカ出てくればいいものなのか。分かるようで分からない言葉だなんて思います。以前からあるものを、教育大綱の中でも使われてるので今回はそのまま残しましたが、でもそれって何なのか、本当にいることなのか、また1年をかけて見ていこうと話しました。食べ物って言ったら、質より量だよなとか、ゆったりすることはあったりするのですが、何かちょっと分かりにくい言葉で、何かこういうキーワードの言葉を使うと良く見えるっていうような使い方がしてあるんじゃないかと。何を目指してるのかが抽象的でわかりにくいなっていうことは、ちょっと思っています。決してその過去を否定するというわけじゃありませんけど、何かそこに具体は何を目指してるのかがちょっと見えなくなる、

なってるっていうか僕の中では。

中田委員

その時代時代、その場その場によって変わってくるものではないですかね。その言葉をOKして使うということではなく、今言われたように何を求めるかっていうところを探求することが大事だと思います。それが中に反映され、そういった言葉を使うっていうこと、理解した上で使うのが大事だと思います。言葉は、その時代によって変わってきますし、そこで考えてもらえばと思います。

十河委員

毎年このことで指針については、去年が悪かった訳ではないですし、より質の高い、よりっていう言葉があれば、今までのことを否定せずにといいか、よりレベルの高いところに高みを目指すということだと思いますけど。毎年進化してると思っていつも報告させていただいてます。

中田委員

繰り返しになりますけど今年のポイントはここだよっていうことが明確にされ、今年より質の高いところはここだよと示せたら良いと思います。

山本教育長

そういう取り方でいいかもしれません。下線を引いたところが今年の改善点、狙いのところということ。そういう具合に質を高めていくと。どうしても動かないものっていうのも実はあって、例えば、昔では「知・徳・体」とか、第三中学校でいえば「創造」「剛健」「明朗」とか。あと校長が来て好きなこと言うのとはちよっと違い、揺るぎないものが境港市としてもある、市の教育の方針に、大綱が変わろうともこれは変わらないというところをしっかりと目指していかないといけないと思います。

明治の時代から「知徳体」なんていうのは本当にぶれないものとして、3つのバランスっていうところは常にとりながらいかないといけないでしょうし、今だんだん方向性として見えてきたのは、1つは探求、個に応じた深い学びの方向と、もう1つはふるさと、生まれ育ったこの町をどうやって、大切に愛して、そして自分の出生のルーツだっていう思いを持たせるかっていうところっていうのは、おそらく大きな柱になるだろうなって自分は考えています。それらが時の流行もあると思いますが、今後も市の教育の柱として残っていくのであるならば、子ども達には、これはやってみたいと思うことを、他は止まっても、どんどんやらせて

もらえるくらいの勢いで向かってほしい。またそれを許してもらえたのは、境港市の大らかさであったり、人と人との結びつき、新しいものを歓迎してくれる気さくさというのは、境港市の良さですから、良いところを伸ばしてくれることが出てくるのを盛り込んだ記載にしております。常に改善を図りながら進めていきたいと考えています。他にご質問はありますでしょうか。

では、次に進めます。3月定例会市議会の教育委員会関係質問答弁について、ご意見、等ありましたらお願いいたします。

渡邊委員

算数・数学のデジタル教科書をモデル的に使用と書いてありましたが効果や希望したらもらえるものでしょうか。

築谷補佐

英語は全部購入、小学校5年生以上は全部使っていますけども、算数数学が約半数の学校が本年度使いまして、来年度全部予算計上しました。予算だけどうしても国が50から55%ぐらいになります。特に算数だと、計算とかは紙ベースがいいっていう声が多いですけど、やっぱり立体的なものをイメージするっていうときには、やっぱりデジタル教科書は圧倒的に理解が早いみたいです。イメージつきやすっていうことで、単元や分野に合わせて、デジタル教科書を使っているようです。

渡邊委員

個人のデータも取りやすいですね。

柳楽主査

合わせて言えば、子供たちがその先学ぶ方向をデジタルなのか、自分の今の段階ではどう選ぶという力も大分育ってきています。そういう力も自己調整し、自分が学びをどう進めていくかというところを、またねらっていききたいなと思っているところです。

十河委員

クロームブックのことについても上がってましたけども、この先壊れていくとかっていうことが、あれだけG I G Aスクールにどんどん入れて、それが、例えばこの学年だけ全部新しくするかっていう方向では今ないのかなというふうに、このお話の中から見受けられるんですけど。このクロームブックがそういう例えばOSがバージョンアップするとかそういったようなことがなければそのままその壊れた部分を補填するとか、そういう修理してっていうことで、いいのかなとは思いますが、今後、もしそのChrome OSが変わるときに、この機械ではもう対応してない

とか、そういうことになってくるとすごく、予算的にも大変ですね、新しい機器を導入しないといけないとか、これは対応するしかないなど、その辺の見通しみたいなのがもし分かれば、もしそうであるならばそれに備えて予算確保を、積み立てをしていかないといけない。いきなりあれだけの両を導入して、費用は更に高くなっていると思うんですが、その更新時期っていうのが、その壊れた分を更新していだけで賄えるのかって言う、もしわかればよろしいでしょうか

柳楽主査

今フローブックの方は、ブラウザの方でタイプもどんどんバージョンアップしていいます。おっしゃる通り、更新があり今壊れてるものを、修理しながらっていうのもありますが、基本的にはもう今5年経過というところで、更新を考えないといけません。うちの場合は令和8年度に全体更新っていう方向で今動いています。そのために、委員が言われますように、もちろんマシンの方もやりとりできる双方向性を確保し、しっかりデータをやりとりできるっていうためにネットワークアセスメントの構築が大切と考えておまして、そちらを確実に強固なものにした上で、文科等の補助をいただきながら更新する。様々な条件があるんですけど、それを今、担当の係長が準備しているところではあります。

十河委員

6年使用して、更新っていう形ぐらいのペースっていう契約は6年間ですか。多額の費用もかかるんでしょうね。クロームブックを入れたことによって、何年かに1回そういうドンという費用が必要ですね。

大部委員

学習による使用頻度は本当に多いのですか。

柳楽主査

導入したときに比べたらもう大分当たり前になってきています。

大部委員

聞くところによりますと、少し得手不得手があってその先生によっては、やっぱり紙でみたい。紙が悪いわけじゃないと思いますが、せっかく買ったものなのにと、家で眠ってるというようなことも違う学校でも聞いたりとかします。しっかり予算をかけてっていうのであれば、壊れるところっていうのはありますが物を大切にしていることは原点だと思います。ただ、致し方ない壊れ方もあると思うので、その頻度的なこ

とや、あまり、当たり前にならない形になって欲しいなどは思います。

柳楽主査

あくまで貸与という形をとってますので、本当に大事にするっていうところは子ども達と一緒に考えていく一番のポイントだと思います。

中田委員

どんどん上がってくる金額の中で5年前の金額と今の金額はまた違う。これからもっ変わってくるだろうし、それがどこまでどういうふうに対応できるのだろうなっていう不安があるのはあります。子どもが自分たちで何か対応できないだろうか。何でもでもかんでも与えてもらってるのが当たり前というところで物を大事にするとかっていうような、変な言い方ですが自分の腹が痛まないとある程度は、大事にしないのかなというように何かそういったことも、あるのかもしれませんがね。教科書だからしょうがないっていう話だけではなくって、必要なものもやっぱり自分たちでも何か考えるっていうことが大切だっていうと、これからはやっぱり何かから何まで全部今当たり前になった時代になってますから。これもなんか、子どもの時から考えさせるっていうことが、もしかしたら大事な視点かな。変な心配でした、ごめんなさい。

山本教育長

本当にね、何でもある時代だし、どんどん機種はあつたらしくなるし、そんな古いのを使うとどうだっていうことも、性能も処理能力も随分と伸びてたりと。今はたまたまコロナの功罪というか、それでギガという形で入ってきましたので、大切に使いながら、そしてまた、中田委員さんおっしゃってくださったような、自分たちでそれらをカバーできるような仕組みっていうのも、また見つけれると良いと思います。

それでは次に移ります。令和7年度当初予算についてということで、それでは最初に課長から説明をしていただいてそれから質疑に入りたいと思います。

事務局

令和7年度予算について説明（教育総務課長）

大部委員

フリースクールの利用料等の補助金について、フリースクールに通っている部分は、学校に行ってることを認めるとありましたが、それはもう認められたっていうことでしょうか。

築谷補佐 出席扱いという形で、フリースクールの活動内容を月に1度、学校長に報告をして、学校長がその活動を教育活動として認めるということで、フリースクールに行かれたら、出席日数としてはカウントしていこうという流れになっております。

山本教育長 県が絡んでいまして、県が審査をします。形態だとか、報告義務だとか、そして、私の塾と何が変わるのかっていうところはその認可が違うということで、それで県市から補助をもらうことができるようになると認可によって補助を出すっていうような仕組みになっているのが現状です。

角課長 フリースクールの関係、県のを綱もちよっと変わるようでして、上限額は上がるみたいなので、うちの方も、それに合わせて要綱改正して、また予算が足りなくなると思いますので、また補正で対応していくと考えです。今までは2万円が上限で3分の1ずつ、保護者負担なしの負担と県の負担がありましたが、それが3万円、週3回行けば、3万円。そこの保護者負担も1万円、これ多分1万円に変わる予定になってまいす。また、保護者負担が1万円。

十河委員 費用面のことではないんですが、運用面のことについて、小学校と中学校のプール、これ令和6年度は外江小と二中のみということで、2時間まとめたの授業をバスで移動させてということだったと思うのですが、この令和7年度は5校で実施し時期的なものは例えば集中して6～7月ぐらいでやってしまうのか、それでも数年通してバスのこともあると思うので、例えば12月にプールの授業があるのか、どのような運用の形になるのかっていうのがわかれば教えていただきたいと思います。

柳楽主査 夏だけってわけじゃなく、今のところ予定では、5月から予備も含めて11月の間でシフトを組んで、バスの方も、2台で回れるっていうような、今、計画も全部できております。学校の方は、この期間は、例えば運動会に集中したいので外したいとか、ここに使う修学旅行とか、そういったところも小中でも連絡取り合いながら、それぞれの学校の希望を考えた形で今のところ計画が、1年間分ができております。

渡邊委員 実施の順番はプールの古い順番でしょうか。どのように決めたのでしょうか。また小プールだけ使うということは出来るのでしょうか。

柳楽主査 実施については学校の希望の確認と消防水利の状況もあります。小プールは大プールと繋がっていますので、どちらかだけというのは難しいです。市民温水プールの小プールも活用しています。大プールは水深台を使っています。

渡邊委員 平和学習で使う鬼太郎記念館のリニューアルも初めて行ってビックリでした。

十河委員 今までの展示内容よりは平和学習にすごく、場所とかスペースとか取ってあるのですごく最適で素晴らしいです。

山本教育長 教育旅行としても、県内のところへ旅行会社として呼びかけてまして、1つは伊平屋の子供たちに入ってもらいましたし、次は大山町が交流している沖縄の嘉手納基地のところの金田小学校の子ども達にも見てもらいました。ここでも戦争学べるんだとか、水木さんもそうだったんだっていうところでね。口コミで広がってくれると嬉しいなって思います。

十河委員 もう1つ進めさせていただきたいのは、中学校のICT教育推進事業。AIによる自動採点システム。これはどんな形で、例えばクローズドブックはみんな持っているのでそこで回答してそれが集計されるっていうものなのか、紙に書いたものが例えばスキャンされて、自動集計されるっていうようなものなのか、もしわかれば教えていただきたいです。

柳楽主査 採点システムにつきましては、紙でやったテストを読み込んで、そこで基準等をつけて、それを○×とかつけられるようなシステムになってまして、問題ごとに例えば、3番という記述があったらそれを全部の子供のやつをそこだけ抽出して、パーッと全部見るとか、そういったことができるシステムになってますし、あと、観点別の集計とかそういったところでも、設定を入れておけば、使えるっていうものになっています。

十河委員 これは当然その、教員の負担軽減に繋がることが前提での導入、それから、そのスキャンする手間とか、そういうことで、時間がかかったら何か本末転倒。

柳楽主査 そこは実際にやってる学校では本当はないと困るぐらいそうですか時間も相当減るっていうことでして、スキャンも昔みたいに1つずつじゃなくても全て自動で読み込めます。スキャンする機械もFAXもある複合機ですので情報漏洩には気を付けたいです。

中田委員 学校再編推進の予算は少ないですが、どのような体制で視察を考えているのでしょうか。学校再編の話が上がっていて、我々も興味があるところと感じています。

角課長 視察に行くメンバーとしますと、教育長と担当課長補佐と、あとは、指導係、主査と、あとは、建設の関係の担当者が行く予定になってます。議会からも外部の人なんかを連れて行かないのかという意見もありましたが、その辺の予算はちょっとないですけど、今のところはその4名です。

山本教育長 これは予算計上しているものですが、他にも候補を探してまして福岡県の嘉麻市っていうところを考えています、そこは人口規模が一緒、それでいて、義務教育学校がもうスタートしてまして、その建物を見たら非常にかっこよさがあり、今の病院のような今の学校のような四角い建物ですっていう感じではなくて、図書館を真ん中に置いて、地域コミュニティーも一緒になってるっていうようなところがあります。人口規模が同じぐらいのところっていうのはやっぱ見る必要があるだろうなって思っています。あと、大分の玖珠町です、梶原先生のところで、あそこは、田舎の不登校特例校をスタートされてて、6月終わりに西伯郡の教育長と一緒に教育長視察でいくという予定にしています。津山の隣に美作市というところがありまして、そこに、樺（あらき）学園という、学びの多様化学校ができました。中国地方発、本当にこれも山の中なので、留学ができる形になってまして、それは僕が望むところでもあります。関東圏っていうのは実は遠いようで、この飛行機を利用すれば、非常にターゲットになりうる。場所だろうと僕は思っていて、関西から来るよりも、関東から来る方が近いだろうと。そうすると、本当の、田舎の山村留学じゃないですけど、魚釣りができておいしい魚が食べれて、のんびり空気のおい

しい水の強いところで育ったらどうってというようなニーズにはこたえられるんじゃないかと思ってて、そのヒントになるようなところがさっき言いました、樺学園だったり、それから、珍珠町の視察がヒントになるだろうと。珍珠町なんかは、福岡、北九州ってあたりから、みんな集まってるそうです。山の中で、静かな少人数の中で、個別に対応してもらえる。全くいけなかった子だけど、別に、行ってあげてもいいよみたいな、この前テレビでやってました。八王子のいずみの森義務教育学校っていうところは、私の大学院のときの後輩が今校長です。それから、高尾山学園っていうところは、日本で一番古く学びの多様化学校、当時の不登校特例校というのをもう20年以上前にスタートされているところですので、不登校の子が通ってきて、当時は特例校という措置で、時間割・教育課程を減らすことができました。僕はこの教育課程時間割を減らすことは、頭の中に思いつかなかったですけど、これができるようになることが容認されるのであれば、これからは、1000時間あまり教えないといけないっていう、ギチギチに詰め込んである状態から、開放されることで、子供たちの何かに変化してくるだろうと思っていまして、文科はこれを300校日本に作るって言っています。今24校しかありませんので、これもコミュニティスクールのスタートと一緒に、最初こんな広がらないだろうという考えもありましたが、もうバーンと広がったのと一緒になっており、大体1年間に30校ずつ増えてます。鳥取県はない、中国地方では岡山が最初に始めましたし、米子も手を上げたと言って言っている状況、それぐらい不登校をみんな抱えて、今の現状の教育課程ではもうキャパがオーバーしています。フリースクールでは支えられない。学校にサポートサポートルームっていうの作っても、対応しきれず結局同じ組織の中に通わないといけないわけで。嫌なところのまま、来たら面倒見ますよっていうやり方になっています。全く違うところっていう分教室方式っていうのもできてます。中学校の中に分教室があり、入口も全く変えている、要するに、昼に行われる学童保育みたいなものの延長上で、別のものが行われているようなことはあったりします。神奈川県の大和市は、それが今、スタートいたしましたけど、これがきつとつまずくだろうなと思います。やっぱその学校が存在して、こっそりおまけで作るんじゃなくて、正当な学校として認可されることは、フリースクールは転校措置はありませんけど、学びの多様化学校は転校措置を必要としています。ここが大きなと

ここで、フリースクールは今いる中学校のままフリースクールいけばいいんですけど、ここへ行くときには、例えば、学びの境港学園っていうのができたとしたら、そこへは転校措置で卒業の資格がきちんとあるという方向ですので、学校の成立も併せて考えると分教室方式は良くないなって僕は思っていますから、できるならば、学校再編をしたときの空き学校を丸々使うのが一番理想的だろうと思います。とにかく生を見てくる年にしたいと思っています。次は生涯学習の方からお願いします。

北野課長

令和7年度予算について説明（生涯学習課長）

山本教育長

ご質問等ありましたらお願いします。

十河委員

海とくらしの史料館についてです。今のお話で15万人はびっくりしましたが、先日米子市の郷土資料館、旧市役所の建物で拝見したのですが、そこと海とくらしの史料館は、なんか似たような傾向にあるのかなと思いました。やはり地元にはないといけないもの、この境港ならではのもの、境港市やこの近辺に暮らす人たちが資料館として使えるような、大規模な改修の必要性や、今でもすばらしい施設だとは思っているんですけど。そういったことの充実を図って、地元で根差した施設に向けて進んでいくと良いのかなというのを先日米子の郷土資料館見て思いました。そこへ何回も足を運びたいなというふうに思いましたし、海とくらしの史料館も剥製とかすばらしいものいっぱいありますし、もともと展示が広がっていい施設になるんじゃないかなと。すごく好きな施設ではあるんですけど、大規模な改修じゃなくても、地域に密着した施設になってくれると、今回の学習、水木しげる記念館の学習でも使っておられると思いますが、また海とくらしの史料館も使い、学校でやっぱり子供たちに境港のことをよく知ってもらうためにも、この海とくらしの史料館っていうのは大切な施設だと思うので、そういう地域密着型の施設になって欲しいなと思います。

北野課長

今現在ですね、年間2万人ほど来てます。提言の中にも、やっぱり市民に来てもらいたいってことで、市民は無料がいいのではという提言もいただいております。ただ、無料化するとやっぱり収入もなくなりますし、なかなか収入が上がるような施設ではな

いけれども。ただ、そうするとそこにどれぐらいの予算をかけて改修するのか、展示の方も1階は剥製、2階は民具になっています。民具がいいのか、漁具が一番良いのでは、やはり海のもの、あまり民具についても、農具とかあんまり関心がないのかなと思います。

十河委員 弓浜紺とかもいっぱい展示されていますし、やはりこの地元のことをよく知ってもらいたい施設だと思います。

北野課長 あと中庭にも白壁ギャラリーという一室もございまして、下の展示場もあります。どこまで改修などをやるかを考える必要があります。あと、資料がかなりの数がありますし、その資料を入れるところがないというのが現状です。2階を全部潰して、そこを資料保管室するとか、その中には温度調節を必要とする資料もございまして、施設をどうやっていくかっていうのをちょっと来年度、色々と考え、市民に何回も来てもらう施設というのが一番いいと思います。今回、議会では、観光型とかも言われました。観光はなかなか難しいかなとは、今の担当の立場では思っていますけれども、そういうところも考えていかないとはいけません。

山本教育長 他にはいかがでしょうか。

十河委員 三中の自転車置場の増設が、ほぼ工事が終わったところですが、一中の自転車置場のことが令和7年度に書いてありますけども、やはりこれは三中と同じように、全校の生徒が自転車で通えるようなことを想定しての工事でしょうか。

角課長 全員分ではありません、第1中学校は校長先生と協議しまして、100台あればいいということで計画しています。

山本教育長 本日の協議事項は以上となります。

4. 報告事項】

事務局 それでは、報告事項・行事予定について、教育総務課、生涯学習課からお願いします。

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

※柳楽主査より 定例市議会、コミュニティ・スクール研修会、定例校長会、県立高等学校一般入試、地教委内示、小中学校卒業式、小中学校修了式、臨時教育委員会、臨時校長会、校長内示、職員内示、教職員人事異動発表、退職校長辞令交付式・辞令確認式、退職者辞令交付式・辞令確認式、新任管理職辞令交付式等、小中学校始業式・入学式、校長・教頭合同協議会、予算配当説明会について説明

北野課長より ねんりんピックはばたけ鳥取2024境港市実行委員会第3回運営委員会・第3回総会、第3回境港市図書館連絡協議会、社会教育委員会議、定例公民館長会、第33回境港市ピアノコンクール受賞者コンサート&第28回シンフォニー少年少女合唱団・シーサイド☆音魚人定期演奏会、シンフォニー少年少女合唱団入団式、市民交流センター連絡調整会、スポーツ推進員協議会定例会、ピアノコンクール実行委員会等について説明

《図書館 利用状況等報告》

※資料配布

事務局 ただいまの行事報告・行事予定について質問等ありますでしょうか。（質問等なし）。
次回日程確認。

【5. 閉会】

山本教育長 それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。